

佐賀県における農業用ハウス強靱化緊急対策事業取組内容

【経緯】

佐賀県では、国庫事業を活用した低コスト耐候性ハウスの導入、県単独事業の実施による既存ハウス等の長寿命化を進めている。

しかしながら、「令和元年豪雨」によるハウス倒壊の発生など、今後、いつ大きな災害が発生するか分からない状況である。

このことから、災害に強い園芸生産基盤の構築を図ることを目的に、長期に見込まれるパイプハウス等に対し、適切な補強等を実施するとともに、園芸施設共済、収入保険の積極的な加入を促進する。

【佐賀県における農業用ハウスの状況】(H30年)

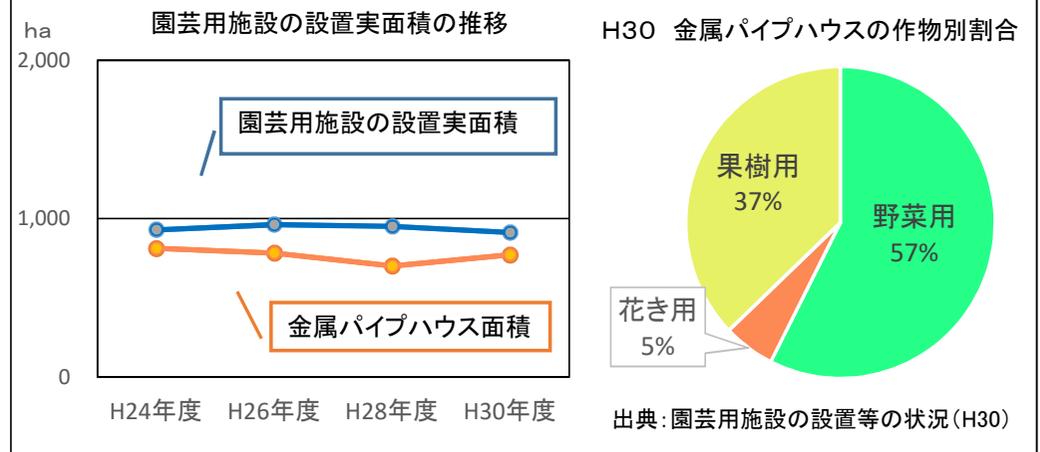
- ・農業用ハウス 912ha
- ・うちパイプハウス 772ha

【対策の内容】

- ・各施設園芸部会等の全体研修会において、台風被害防止対策、施設の補強等に関する資料等を活用し、台風、降雪前の保守点検項目の確認を普及
- ・経年による劣化や構造上、強度が不足するハウス補強、防風ネットの設置を支援

○具体的な取組内容(台風対策)

- ・筋交いによる補強、タイバーによる補強、アーチパイプの増設による補強



※金属パイプハウスは、一般的な農業用パイプハウスを指す。

農業用ハウス強靱化緊急対策事業の取組概要

【佐賀県白石町】

1.地区の概要

- ・白石町は、玉葱、レンコン等の露地野菜、いちご、アスパラガス、こねぎ、きゅうり、花きなどの施設園芸が盛んであるが、農業用ハウスのほとんどが保守管理の対象となるパイプハウスである。
- ・課題として、全域平坦地のため、風を遮るものが少なく、台風の上陸・接近によって、倒壊など台風関連被害が発生しやすい。

2.取組内容、効果

【地区の概要】

- ・農業用ハウス 42ha うちパイプハウス 42ha(H30年)
- ・補強が必要なハウス面積 0.42ha

【取組内容】

- ・筋交いによる補強、水平梁による補強

【補強方法を選んだ理由】

台風による倒壊被害防止を目的に筋交いによる補強を選択。

【効果】

- ・筋交い、水平梁の設置により強風にも揺れない強度補強を実現

3.今後の取組

- ・災害発生前に保守管理・災害対策を呼び掛けることのできる指導者の育成
- ・保守管理の周知
- ・施設保険の加入の促進

4.補強の概要

補強名：筋交い



補強名：水平梁

